

# 「日の出町立学校における働き方改革推進プラン」の策定について（概要）

## I プランの基本的な考え方

### 1 学校における働き方改革の目的

- ◆教員一人一人が心身の健康を維持しながら、教育活動に誇りとやりがいをもって意欲的に取り組むことができる環境づくりを進めることにより、日の出町の教育の質の維持向上を図ります。

### 2 働き方改革の先に目指すべき姿

- ◆心身ともに健康で、高い集中力を発揮し子どもと向き合う教職員
- ◆学校外の世界と触れる豊かな経験を積み、アイデア豊かで人間的な魅力あふれる教職員
- ◆教職員一人一人が可能性を最大限に発揮し協働できる「チーム学校」
- ◆自己研鑽や広い視野を獲得した教職員による新しい時代の教育創造
- ◆子どもたちの知りたい、学びたい、友達と仲良くしたい等心のサインを見逃すことのない時間と心のゆとりある指導ができる教育活動
- ◆教育界の労働環境を魅力的なものにし、優秀な人材に選ばれる公立学校

### 3 働き方改革の目標

- ◆週当たりの在校時間が60時間（※1）を超える教員をゼロにします。
- ◆チェックリスト（※2）の平均値（※3）の向上を図ります。
  - ・一般版：20%UP
  - ・詳細版：10%UP
  - ・最弱点「職員との時間管理」：20%UP

※1 上記でいう在校時間60時間とは、月当たりの時間外労働がおおむね80時間となる状態を週当たり換算したもの

※3 0点から3点で自己評価（点数が高い方がより実現できているという評価）し、各評価結果を平均化した値（0点：意識していない / 1点：意識しているが当てはまらない / 2点：一部あてはまる / 3点：確実にあてはまる）

### 4 課題と取組の方向性

日の出町の教職員の働き方に関する調査結果に基づき、以下の5つの課題を設定し、その解決に向けた取組の方向性を明確にします。

#### ◆課題1 本気の働き方改革への当事者意識と時間意識

- ・教員自らも子どもも幸せであるためにはどのようにすればよいか、常に思考を巡らせ、生き方を含めた働き方に向き合います。
- ・同じ成果を短時間で達成できる方法がないか考える習慣をつけます。

#### ◆課題2 互いの働き方を理解し改善するための真の同僚性の構築

- ・教職員がお互いの価値観や背景を知るために話し合い、業務負担の相互理解を深めます。

#### ◆課題3 新しい時代の教育や次世代の働き方を見据えた業務改善

- ・学校の常識や前例踏襲を見直すこと、タイムマネジメントの方法取得や既存のものを見直す場を設け、業務改善を行います。
- ・部活動の見直しを検討します。

#### ◆課題4 働き方改革を推進し教育の質を高めるための環境整備

- ・ICTシステム整備・活用とそのための人的支援の体制を整備します。
- ・教員業務補助体制と学校学習支援員等の人的支援の更なる活用体制を整備します。

#### ◆課題5 地域で教育を担う社会風土の醸成

- ・学校・地域・家庭の役割分担を確認し、協働体制を整備します。
- ・部活動に関する長期的な展望を見据え地域が一体となって熟議します。

※2 チェックリストとは、教員の働き方に関する意識や実際の働き方など数値で示すことが難しい内的な現状を明らかにするために、教員の働き方や職場環境の状況についての設問回答により結果を数値化し、総合的に教員の働き方に関する現状を把握するツールのこと。一般版とより次元の高い取組を促す詳細版の2種類がある。詳細版は一般版で顕在化した課題項目をさらに深りさげ、改善につなげる効果が高い。

## Ⅱ 業務改善推進実施計画

### 学校における業務改善のための組織体制の充実

- ◆小中学校一校ずつパイロット校を設定して、パイロット校を中心に**全5校で推進組織を設置して取り組み**、教員のタイムマネジメント力を高めます。
- ◆各校において、教員のタイムマネジメントに関わる組織的な取組を通して、教員が互いの働き方を相互理解し改善するための**真の同僚性**を構築します。

#### <スタート全員会議の開催>

- ・働き方見直しの取り組むべき方向を学校全体で共通理解し、日々の業務に取り組みながら、身近な改善に向けて自由な議論のできる環境づくりを目指します。
- ・働き方改革の必要性を考え、基礎知識を知るとともに、身近な改善実行アイデアを立案します。

#### <時間配分全員会議の開催>

- ・お互いを補い合い活かし合い、時間を最大限活用する方法を考えます。
- ・目指すべきものや判断基準を共通理解して、時間をかけるべき部分をはっきりさせ学校をチームにすることを目指します。
- ・時間配分の改善実行アイデアを立案します。

#### <学校全体業務改善会議の開催>

- ・目指すべきものや判断軸の精度を上げ、思い切ったスクラップ（※）を含んだ学校全体に関わる業務改善を実行することを目指します。
- ・学校全体に関わる業務改善実行策を立案します。

※ 廃止だけでなく、既存業務の統合や見直し等による業務の効率化のこと

### 教育委員会事務局における学校支援体制の充実

- ◆事務局内部に働き方改革推進に関するための組織を設置するとともに、学校と連携・協働するための体制を整備し、教員の働き方を改善・充実させることを目指して、ソフト面・ハード面の両面から学校支援体制を充実させることを目指して取り組みます。

#### <組織体制整備>

- ・学校における働き方改革推進委員会等の組織の設置（継続）
- ・教育委員会事務局における検討・調整会議を設置（新規）

#### <教員の意識改革・真の同僚性の構築>

- ・出退勤管理システムを活用した勤務時間の可視化の検討（新規）
- ・ライフ・ワーク・バランス推進月間の設定（継続）
- ・ライフ・ワーク・バランス推進週間の設定（新規）
- ・教員のタイムマネジメント力向上支援事業の推進（新規）

#### <業務改善>

- ・各種調査・通知文の発出に関し学校の負担軽減を図る工夫（継続）
- ・会議・研修の更なる精選（継続）
- ・学校と連携した文書や保護者通知の見直し（継続）
- ・部活動ガイドラインの策定・見直し（新規）

#### <環境整備－ICT環境>

- ・統合型校務支援システムの導入の検討（新規）
- ・学校徴収金システムを含め学校徴収金管理の適正化の検討（新規）

#### <環境整備－人的環境>

- ・外国語指導助手（ALT）の配置・活用（継続）
- ・日の出町人材バンクの活用（継続）
- ・学校学習支援員の効果的な配置と活用（継続）
- ・スクール・サポート・スタッフの全校配置による教員支援（新規）

#### <社会風土の醸成>

- ・ホームページ・広報等の活用（継続）
- ・学校における働き方改革連絡協議会の設置（新規）
- ・学校を応援しようセミナーの開催（新規）
- ・成果報告会の開催（新規）